

11月30日、兵庫県公立高等学校PTA連合研究大会が丹波市立春日ホールにて行われました

本校からは校長先生と本部役員4名が参加しました

開会行事では、県立夢野台高校、伊丹高校、柏原高校に優良PTA教育長表彰がありました
どの高校の取り組みも、子供たちのために、またこの時代に合ったPTAにするためにと
いう考えの元に行われていて、大変参考になりました

続いての記念講演には、2016年リオデジャネイロパラリンピック4×100R銅メダリストの
芦田 創(あしだ はじめ)氏が登壇されました 5歳から15歳まで右腕のデスマイド腫瘍
の闘病生活を送る中で自分と向き合い、「好きなこと」と「強み」を見つけることの大切さ
に気づかれ、自分の目指す方向を決めていかれたそうです

また、世界で戦う中で「外から見た日本」にも関心をもたれたそうです 日本の教育では、
足りない部分を補ってできるだけ何でもこなせるようにしようとする「足し算思考」が強い
そうで、芦田氏は、それとは反対の「引き算思考」を提唱されていました 自分との対話を
重ね、本当にしたいことは何なのか、なぜそれをしたのか、そのために必要なことだけを
精選し余計な行動をそぎ落とした結果、専門の走り幅跳びで日本記録を出されたそうです
そして最後にこれからの教育についてお話がありました 教育とは自立の支援であり、教
えを詰め込むものではなく、相手の中に答えがありそれを引き出す対話形式(コーチング)で
進めることも提唱されていました

これまで大多数の親世代が受けていた教育とは異なる価値観に触れ、目からウロコが落ち
る思いでした

最後の実践発表では、高砂南高校、龍野北高校、豊岡高校の実践発表がありました

高砂南高校は、春の選抜高校野球大会に出場した時に、地域の特別養護老人ホーム鶴林園に
入所している方々から応援を頂いたことをきっかけに、数十年も年2回の交流が続けられ
ているそうです 訪問時には、PTAの方々もいっしょに花植えをされるそうです また、
吹奏楽部の演奏もあり、みんなで楽しめているそうです

龍野北高校では、平成21年の佐用町の豪雨被害をきっかけに拠点校として地域拠点型合同
防災訓練を行い、地域の方々との交流を深めているそうです PTAも積極的に関わり、生
徒の保護者からも好評だとのことでした

豊岡高校は、地域のお祭りである「柳祭り」の中の「豊岡おどり」に20年以上参加してい
るとのことでした PTAは生徒たちを見守り、地域のお祭りを盛り上げるために一役かっ
ているとのことでした

3校ともスライドに映っていた生徒さんたちの表情が生き生きとしていたことが印象に残りました

この研究大会が、改めてPTAとして子供や地域の方々に何ができるのだろうと考えるきっかけになりました。子供たちのため、地域で愛される学校にするためには何が必要なのかを引き算思考で見つけていきたいと思います

